

石井市長公約 OPEN！西宮 進捗状況(集計表)

令和4年2月公表

区 分	○ 達成 もしくは 概ね達成	△ 一部達成	— 未達成	計
重点3政策	2	1	0	3
1. みんなと動かす	6	3	1	10
2. みんなと学ぶ	10	1	1	12
3. みんなと暮らす	10	5	0	15
合 計 (重点3政策は除く)	26	9	2	37

	政 策	令和3年度までの実績、取組状況	令和4年度以降の取組予定 (令和4年度予算への計上内容含む)	進捗状況
重点 3 政策	政策1 市長退職金改革から始まる、市役所改革	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年9月議会において、現任期にかかる市長の退職手当を不支給とする条例を制定しました。 ・「西宮市行政経営改革 前期実行計画(令和2~4年度)」に基づき「市民と共に新たな価値を生み出す市役所改革」の実現に向け、着実に改革の取組を進めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の条例に基づき、市長の退職手当を不支給とします。 ・令和4年度は「前期実行計画」の最終年度に当たるため、取組を進めるとともに、「中期実行計画(令和5~7年度)」の策定を行います。 	○
	政策2 待機児童ゼロ、子ども子育て応援宣言	<ul style="list-style-type: none"> ・教育大綱を改定し、「西宮市幼児教育・保育ビジョン(素案)」を作成したほか、市立学校のコミュニティ・スクールの導入を順次進めました。 ・子ども食堂の全学区への配置を目指して支援を行いました。 ・待機児童対策については、民間保育所等の新設整備、私立幼稚園との連携による受入枠拡大策に加え、国家戦略特区制度を活用した先進的な取組により、令和3年4月の待機児童数は前年より大幅に減少しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、社会全体で子育てや教育を支える仕組みづくりの取組を進めていきます。 ・待機児童数は着実に減少しているものの、依然として保育ニーズは増加傾向にあるため、引き続き待機児童対策の取組を進めます。 	○
	政策3 シニアもみんなも生き生きするやさしいまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・バス路線については、令和元年度に「小曾根線直進路線」及び「今津港経由路線」の運行が開始となりました。また、コミュニティ交通導入に向けた地域の取組への支援を行うほか、シェアサイクルの利用動向調査を開始しました。 ・高齢者や女性の視点など世帯の状況に応じた備えを充実させて防災マップを一新し、全戸配布しました。 ・快適で安心なまちづくりのため、構想段階にあった事業を着実に前進させました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、バス路線の拡充などの移動環境の改善に取り組めます。 ・防災については、個別避難計画作成のスキームを検証するためモデル実施を進めます。 ・シチズンシップの醸成や公園のパワーアップなどを進め、市全体が明るい生き生きとしたやさしいまちへとなるような取組を進めます。 	△

政 策		令和3年度までの実績、取組状況	令和4年度以降の取組予定 (令和4年度予算への計上内容含む)	進捗状況
1 みんなと動かす	「市長へのホットライン」の創設	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年に本庁等に「市長への手紙(投函箱)」を設置し、ホームページ「市民の声」投稿フォームや郵送で寄せられたものを含め、頂いた意見・提案に目を通し、必要な対応、検討を行いました。 令和3年度から「市民の声システム」を導入し、頂いたご意見・回答のホームページでの公開対象を拡充しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市長が「市長への手紙(投函箱)」やホームページ「市民の声」投稿フォームや郵送で寄せられた意見・提案に目を通し、必要な対応、検討を行います。 頂いたご意見・回答のホームページでの公開の更なる充実を図ります。 	○
	情報「フルオープン」構想	<ul style="list-style-type: none"> 市民との情報共有をより進めるために、広報・広聴の考え方の指針となる「広報広聴ガイドライン」を令和2年度に策定しました。 オープンデータの充実を図り、より使い易いオープンデータサイトにリニューアルするとともに、地図と連携した保育所等空き状況の公開を行いました。また、大学に積極的に提供するなど利用促進を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> 「広報広聴ガイドライン」の内容の理解を深め、浸透を図るため、庁内職員研修等を実施します。 引き続きオープンデータの公開に積極的に取り組みます。 現在、市役所内部に限っている分析用抽象化情報について、大学の研究等に活用して、地域課題の解決や市の活性化等に資することができるよう、外部提供に向けたルールを検討します。 	○
	「市民提案型予算枠」の導入	<ul style="list-style-type: none"> 市民からの提案に基づき協働で事業を実施する「未来づくりパートナー事業」について、市民参加が進むような新たな事業について検討しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな事業として、市民団体などが公益活動に取り組むにあたって、事業経費を助成する制度を実施します。 	△
	「いっしょにしましょ課(仮称)」の創設	<ul style="list-style-type: none"> 市民の声を的確に受け止め、組織で共有し、施策に反映させること及び市民の市政への参画や協働を促すことを目的に、現状の業務の進め方をこの趣旨に沿うよう改善を進めました。 市民や市民活動団体の自発的な活動が活発になるように、助成金や物品貸与などの支援制度をまとめた「市民活動等に対する支援制度一覧」を作成しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市民の協働を促し、市民の立場に立った市役所の仕組みづくりについて研究を進めます。 課の創設については、公約の趣旨に沿った対応にどこまで近づけることができるか、今後も調整・検討を行ってまいります。 	△

政 策		令和3年度までの実績、取組状況	令和4年度以降の取組予定 (令和4年度予算への計上内容含む)	進捗状況
1 みんなと動かす	若い声を市政へ！「未来人材枠」の創設	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育・保育ビジョンの策定にあたって、「子育て世代を中心とした市民会議 子ども未来カフェ」を開催し、子育て世代の参加を促す取組を行いました。 ・令和2・3年度の生涯学習審議会では、公募委員の募集にあたって大学生への募集活動を行い、20歳(当時)の学生に委嘱しました。次期公募委員は、大学交流センターを通じて、市内大学に対して広報しています。 ・幅広い年齢層に利用者が多いLINEを、新たな広報広聴のツールとして導入し、LINEを活用した市民アンケートの試験運用に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種審議会委員の公募委員募集においても、必要に応じて、大学交流センターを通じて市内の大学生に対する広報に努めます。 ・若年層の声を市政に反映させる取組について、引き続き研究に取り組みます。 	○
	「市民参加型行政レビュー」の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に「行政評価等検討懇話会」を設置し、他市の取組について研究しました。 ・平成30年度に23件の事務事業の棚卸しを実施するとともに、行政評価の効果的な実施手法について検討しました。(令和2年度は新型コロナ感染拡大に伴い、実施を見送りました) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政経営改革「前期実行計画」に沿って事務事業の棚卸しを実施し、既存事業の改善や見直しに繋がります。 	—
	Free Wi-Fi まちづくり構想	<ul style="list-style-type: none"> ・市内公共施設20箇所にFree Wi-Fiを設置し、運用を開始しました。 ・LINEを活用した新システムでのアンケートを試行実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Free Wi-Fiを2箇所増設します。 ・Free Wi-Fiとは別に、地域団体の会議や学習に活用してもらうため、全公民館(24館)で貸出用ポケットWi-Fiを整備します。 ・引き続き、LINEを活用した新システムでのアンケート実施についての研究を進めます。 	○
	市長が率先垂範 「市長給与削減」	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月議会において条例を改正し、市長給与の削減を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の条例に基づき、市長給与の削減を任期満了まで継続します。 	○

政 策		令和3年度までの実績、取組状況	令和4年度以降の取組予定 (令和4年度予算への計上内容含む)	進捗状況
1 みんなと動かす	市役所で一番アクティブなのは「市長！」	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や保育園などを訪問し、随時ホームページで公開しました。(平成30年度78件、令和元年度71件、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大により、積極的な訪問を控えてました。) ・市政報告・広聴会(S. N. Sミーティング)を平成30年度延べ6回、令和元年度延べ14回実施しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑み、オンラインで意見交換を行うオンラインミーティングを実施しました。(令和2年度延べ6回) ・幹部職員や若手職員・子育て世代職員とのミーティングを実施したほか、メールによる職員から市長へ直接提案できる「職員の声」を開始しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、積極的に現場に赴き、現場の声を聞いていきます。 ・また、様々な職員とのコミュニケーションの充実を図る手法を検討していきます。 	○
	幹部職員への積極的な女性登用	<ul style="list-style-type: none"> ・西宮市特定事業主行動計画の後期計画(令和2～7年度)で、本市の課長級以上の管理職に占める女性の割合の数値目標を20%(前期計画:15%)に設定しました。 ・職員に対する意識調査を実施し、昇任意欲を醸成する取組に向けて分析を行いました。 ・女性を始めとした皆が働きやすい職場づくりに向けた検討を進め、報告書を作成します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対する意識調査や、女性を始めとした皆が働きやすい職場づくりの検討結果に基づいた取り組みを進めます。 	△

政策		令和3年度までの実績、取組状況	令和4年度以降の取組予定 (令和4年度予算への計上内容含む)	進捗状況
2 みんなと学ぶ	公立全校コミュニティ・スクール化	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に12校、令和3年度に12校がコミュニティ・スクールを導入しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は新たに18校での導入を予定しています。 令和5年度末までに幼稚園を除くすべての市立学校でコミュニティ・スクールを導入できるよう、未実施校を支援していきます。 	○
	社会人経験者の教員養成支援	<ul style="list-style-type: none"> 公約策定の際に課題と考えた「教育現場における若手教員の急増」「管理職適正年齢の減少」について、教育委員会が若手や中堅教員を対象とした研修の充実を図るなど、課題意識をもって教員の資質向上に努めています。 採用を行う県教育委員会も受験年齢制限を廃止し、社会人経験者等の受け入れを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育現場に多様な経験を有した人材が参画できるための制度の研究や、教員の資質向上に引き続き取り組みます。 	—
	小中、中高「公立一貫校」設置の検討	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年4月に「西宮市立総合教育センター付属西宮浜義務教育学校」が開校しました。 総合教育センター付属校として、先進的な学習活動を実施し、研究成果を全市に展開しています。 小中連携の強化や、中高のつながりについての研究を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、総合教育センター付属校として、学校と教育委員会の先端技術の効果的な活用を通じた「子供の力を最大限引き出す学び」の実現に向けて研究を進めます。 また、小中連携の強化や中高のつながりについての研究を行います。 	○
	全学校区へ「子ども食堂」創設支援	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に子ども食堂開設相談窓口(電話)を開設、令和2年度より子ども食堂の運営を支援する補助金を創設し、実施団体の支援に取り組みました。 市内での子ども食堂開設希望者等を集めた「子ども食堂ネットワーク会議」を開催し、子ども食堂開設に向けた支援を行います。(3月開催予定) 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、子ども食堂開設相談窓口(電話)を実施し、子ども食堂運営支援補助金等により実施団体の支援を行います。 市内子ども食堂ネットワーク会議を継続して開催していきます。 	○

政策		令和3年度までの実績、取組状況	令和4年度以降の取組予定 (令和4年度予算への計上内容含む)	進捗状況
2 みんなと学ぶ	公立学校トイレの洋式化加速	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化改修事業におけるトイレの全面改修と並行して部分改修にも取り組み、トイレの環境改善と洋式化を加速化しました。(洋式化率:H29年度41.3%→R3年度50.6%) ・校舎等の改築にあわせて、マンホールトイレを整備しました。(香櫨園小学校、春風小学校、西宮支援学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、トイレの環境改善と洋式化を推進します。(令和4年度は全面改修3校、部分改修8校37箇所、改修後の洋式化率:53.8%) ・マンホールトイレは、校舎改築時等に合わせて、整備していきます。(令和4年度は安井小学校に整備予定) 	○
	図書館パワーアップ計画	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館など公共施設4箇所に返却ボックスを設置しました。 ・西宮浜義務教育学校の学校図書館を地域開放し、市立図書館の図書の貸出・返却を行うなど、利便性の向上を図りました。 ・自動貸出機を設置し、更なるICT活用に向け、ICタグによる蔵書管理体制を整備しました。 ・図書館越木岩分室を、(仮称)越木岩センターの建替にあわせて、地域交流型図書館としてリニューアルを進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の充実、劣化資料の買替を進めます。 ・マイナンバーカードと図書館借出券のワンカード化の促進や、ICタグを活用した蔵書点検期間の短縮、自動返却機の導入など、ICTを活用した利便性の向上に取り組みます。 ・来館しなくても利用可能な音楽ストリーミングサービスを導入します。 ・(仮称)越木岩センターの基本設計・実施設計において、地域交流型図書館の整備を進めます。 	○
	西宮「コミュニティ・カレッジ」構想	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の社会参加や就労について、ハローワーク等関係機関と連携し、就業や再就職の支援を継続しました。 ・キャリア形成セミナーの開催や、大学等が実施するリカレント教育プログラム等について情報の収集と提供を行いました。 ・各部署で行われている人材養成講座を、「にしのみやシチズンカレッジ」と位置付けて取りまとめたパンフレットを作成し、地域活動への参画を促進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ハローワークや大学等と連携して取り組んでいきます。 ・SDGsをテーマとした学習プログラムを「(仮称)シチズンシップ講座として実施し、市民性を育む取組を推進します。 	○

政策		令和3年度までの実績、取組状況	令和4年度以降の取組予定 (令和4年度予算への計上内容含む)	進捗状況
2 みんなと学ぶ	質の高い幼児教育の実現	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童対策については、民間保育所等の新設整備、私立幼稚園との連携による受入枠拡大策に加え、国家戦略特区制度を活用した先進的な取組により、令和3年4月の待機児童数は前年より大幅に減少しました。 西宮市で行われる幼児教育・保育で大切にしたいことを共有し、質の高い幼児教育・保育を実現していく方向性を示す「西宮市幼児教育・保育ビジョン(素案)」を作成しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童数は着実に減少しているものの、依然として保育ニーズは増加傾向にあるため、引き続き待機児童対策の取組を進めます。 西宮市の全ての幼稚園、保育所等において、ビジョンに基づく幼児教育・保育の理解促進と、その実現に向けた子育て環境の充実に取り組みます。 ビジョンの周知を図るため、冊子を作成して現場の保育士等に配布するとともに、保育士等を対象とした研修等の実施を進めます。 	○
	スポーツ環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> 既存の施設の運用見直しについては、開館時間延長を試行実施し、一部施設では本格実施をしました。 学校園の運動場の一部を芝生化しました。(令和元年度:2校、令和2年度:4校、令和3年度:2校) 	<ul style="list-style-type: none"> 勤労者体育館を松原体育館と改称し、指定管理者制度を導入します。このことで、開館日数の増や開館時間の延長を実施し市民の利便性の向上を図ります。 そのほかの施設についても引き続き、ニーズを確認しながら、既存施設を最大限有効活用するため、臨機応変に開館時間の見直しを行っていきます。 	○
	「環境学習都市」潜在カアップ	<ul style="list-style-type: none"> 「環境基本計画」や「生物多様性にしのみや戦略」に基づき、豊かな自然環境の保全や環境学習の場としての利活用を、市民・各種団体との連携を強化しながら協働で取り組みました。 里山活動については、生物多様性にしのみや戦略に基づき、甲山・社家郷山・ナシオンなどで、地域住民・NPO・企業が主体となって実施しました。 森林環境譲与税を活用し、市内の森林状況調査等を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 森林環境譲与税を活用して、環境学習体験の場を安全・安心に利用できるよう整備をしていくと共に、情報発信に努めて事業の推進を図っていきます。また、放置林の間伐や危険木伐採など整備計画を作成するほか、甲山湿原周辺の森林整備について検討を進めます。 社家郷山周辺での「企業の森づくり事業」による里山の保全と利活用を継続するとともに、キャンプ場の再整備方針を検討していきます。 	○

政 策		令和3年度までの実績、取組状況	令和4年度以降の取組予定 (令和4年度予算への計上内容含む)	進捗状況
2 ・ み ん な と 学 ぶ	都市間交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度に新たな交流として、ブラジル ロンドリーナ市出身者が市内企業にてお菓子作りの研修を受ける取組みを支援しました。 ・GIGAスクール構想の実現に伴い、海外の学校等との英語による交流を促進しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりグローバルな交流を進めるために、現在の交流内容を整理した上で、国際交流協会・市民交流団体等と連携し、交流の充実を図っていきます。 ・姉妹校交流や各校独自の取組みについて、学校の支援を継続していきます。 	△
	郷土の歴史、災害の教訓を受け継ぐ教育	<ul style="list-style-type: none"> ・にしのみやデジタルアーカイブを充実させ、歴史資料の学習利用促進を図りました。 ・文化財保存活用地域計画を策定し、文化財の保存・活用の取組を進めていきます。 ・災害の教訓を受け継ぐ教育については、阪神・淡路大震災についての学習に加えて、最近の災害の様子などの新しい情報についても紹介するよう副読本の改訂を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、にしのみやデジタルアーカイブを充実させ、歴史資料の学習利用促進を図っていきます。 ・中央図書館、郷土資料館、平和資料館が連携した、総合的な郷土史学習について検討していきます。 	○

	政 策	令和3年度までの実績、取組状況	令和4年度以降の取組予定 (令和4年度予算への計上内容含む)	進捗状況
3 ・ み ん な と 暮 ら す	地域雇用の創出、産業政策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所と連携しながら、中小・小規模事業者が抱える課題に対し、課題発見から解決まで、継続的にサポートする伴走型支援を強化しました。 ・創業支援事業の取り組みの意見交換をする場として、商工会議所と市を中心に、関係機関で構成する「創業支援プラットフォーム」を構築しました。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大により売り上げが減少した事業者等への支援を行ったほか、コロナ離職者就労支援事業において、事業者向け求人開拓を行い、市内企業の人材確保に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、商工会議所と連携しながら、中小・小規模事業者が安心して経営相談等を受けられるための相談支援体制づくりに取り組みます。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた事業者への支援や、市内経済の活性化に引き続き取り組みます。 ・起業家支援センターを開設し、起業前から起業後にかけて伴走型の支援を行います。 	△
	自転車や歩行者が安全なまち	<ul style="list-style-type: none"> ・「自転車利用環境改善計画」を策定し、自転車の通行位置を明示した道路上の表示(矢羽根やピクトマーク)の設置や、自転車事故の多い個所への注意喚起を実施するとともに、ソフト対策として、自転車安全教室や各種広報活動、放置自転車対策など、自転車利用ルールの周知やマナー向上に取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、自転車の通行位置を明示した道路上の表示(矢羽根やピクトマーク)の設置を進めるとともに、道路のリニューアルに伴う自転車道の再整備に着手します。 ・また、ソフト対策では、警察とも連携しながら、交通安全計画や各種広報活動を実施していきます。 	○
	ソフトパワー拡充による防災強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災リーダーを育成するための、防災士の資格取得に係る経費を補助するほか、地域での出前講座等で地域が主体となった防災活動の重要性を啓発しました。 ・高齢者や女性の視点など世帯の状況に応じた備えを充実させて防災マップを一新しました。また、4か月健康診査において「赤ちゃん和妈妈を守る防災ノート」を配布しました。 ・新たに改訂した防災マップでは、自らの避難を考えることができるよう工夫を加え、全戸配布しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、防災リーダーの育成や出前講座等、ターゲットに応じた研修を実施するなど、地域防災の担い手となる人材育成に取り組みます。 ・個別避難計画作成のスキームを検証するためモデル実施を進めます。 	○

政策		令和3年度までの実績、取組状況	令和4年度以降の取組予定 (令和4年度予算への計上内容含む)	進捗状況
3 みんなと暮らす	人と動物が共生できる西宮市!	<ul style="list-style-type: none"> ・所有者のいない猫不妊手術助成金については、令和2年度に雄猫の助成単価を引き上げ、補助件数を増やして実施しました。また令和3年度より、ふるさと納税による寄附の募集を開始し、動物愛護基金を設置しました。 ・不妊手術助成制度、ミルクボランティア制度、休日譲渡会を実施しました。 ・「避難所における災害時のペット受入れガイドライン」を作成し、ペット同行避難訓練を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物愛護基金を活用し、所有者のいない猫不妊手術助成金制度の拡充及び「実質的殺処分ゼロの取組」を図ります。 ・野良猫の収容状況等に応じ、適宜、ミルクボランティアを増員するほか、休日譲渡会の開催、広域譲渡を推進します。 	○
	地球環境を積極的に守るまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・「2050年ゼロカーボンシティ」を表明し、組織横断的に環境問題について協議する「西宮市環境政策推進会議」において様々な課題について協議を進めました。 ・隣り合う中核市4市で構成するNATS(西宮市・尼崎市・豊中市・吹田市)で地球温暖化対策の連携のための協定を締結しました。 ・家庭用燃料電池や蓄電池、太陽光発電設備の導入に対する補助を実施したほか、省エネチャレンジなど一般市民向けの啓発事業を実施しました。 ・「プラスチックごみ削減運動の推進」を表明し、市民のマイボトルの使用促進を図るため、11か所の公共施設に給水スポットを整備しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・阪神間各市と連携してで市民を対象とした太陽光発電設備・蓄電池や再生可能エネルギー電力の共同購入支援事業を実施します。 ・戸建住宅のZEH化など高断熱化の促進を支援します。 ・公共施設の照明設備のLED化を計画的に進めます。 ・今後の地球温暖化対策の具体的取組に向けて、市域の再生可能エネルギーの導入可能性調査や公共施設における再エネ・省エネ導入調査などを実施します。 ・ごみの分別排出の徹底及び再資源化を推進するため、生活系及び事業系指定ごみ袋制度を実施します。 	○
	「どうぞベンチ」プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンチの設置場所の検討を行い、「どうぞベンチ寄附金」として「ふるさと納税」のメニューに追加し、寄附を募ってベンチの設置を進めました。(R2:7基、R3:46基) ・既存事業では、バス事業者に対するバス停整備のための補助を行っており、市内16箇所のバス停にベンチが設置されました。(H30:8基、R1:8基) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいた寄附金額に応じてベンチ設置工事を実施していきます。 ・さらに、企業版ふるさと納税制度も活用して、ベンチの設置を進めます。 	○

政策		令和3年度までの実績、取組状況	令和4年度以降の取組予定 (令和4年度予算への計上内容含む)	進捗状況
3 みんなと暮らす	公共交通の改善で移動しやすいまちへ	<ul style="list-style-type: none"> ・バス路線については、令和元年度に「小曾根線直進路線」及び「今津港経由路線」の運行が開始となりました。 ・コミュニティ交通導入検討地区(名塩、山口、苦楽園、甲陽園)への支援を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、コミュニティ交通導入検討地区への支援を行い、3地区(名塩、苦楽園、甲陽園)で試験運行を実施します。 ・自動運転に関する国及び他都市の動向、公道実証実験などの情報収集を行います。 	△
	シェアサイクルの導入	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアサイクルの利用動向調査を開始し、市内38箇所にサイクルポートが設置されました。(R4. 1月末現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、利用動向調査を実施し、本格導入に関する協議等を進めていきます。 	○
	高齢者のイキイキ支援「健康づくり」「ボランティア」	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年10月より70歳以上の高齢者を対象とした「西宮市健康ポイント事業」を開始しました。 ・フレイル対策チームを設置し、「高齢者の保健事業と介護予防の一体実施(フレイル予防)」事業の開始に向けて取り組みました。 ・整備を進めている公園に健康遊具を設置していきます。(西宮浜総合公園7基、学文殿公園2基) ・「地域住民による公園清掃等管理委託」制度における清掃ゴミの収集協力の拡大に向けて、パンフレットを作成し、PRに努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者の保健事業と介護予防の一体実施(フレイル予防)」事業を開始し、市内15圏域で実施を進めます。 ・公園の遊具の更新時には、地域の意見を聞きながら健康遊具の設置に努めていきます。 ・公園リニューアル事業にて、八ッ松公園に健康遊具を設置する予定としており、具体的な施設は地域の意見を踏まえ選定します。 ・「地域住民による公園清掃等管理委託」制度については、公園クズカゴ撤去後の衛生環境の保持など新たな協力体制の連携強化を進めます。 	△
	「家族と一緒」の、医療・介護	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターに、社会福祉士などの資格を有する専門職を配置し、身近な地域で在宅介護をはじめ様々なご相談に対応する体制を整備しています。 ・適宜適切な相談支援が提供できるよう、地域包括支援センターの職員を増員し、専門職の適正な配置を含めた体制の充実・機能強化に取り組みます。 ・「認知症初期集中支援事業」におけるICTツール導入を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域包括支援センターの職員を増員し、専門職の適正な配置を含めた体制の充実・機能強化に取り組みます。 ・介護にかかる家族等の負担軽減を図るためのICT化の取組についても積極的に進めていきます。 	△

政 策		令和3年度までの実績、取組状況	令和4年度以降の取組予定 (令和4年度予算への計上内容含む)	進捗状況
3 ・ み ん な と 暮 ら す	産前産後ケアの拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年12月より助産師による産後ケア訪問事業を開始し、令和2年10月より産婦健康診査費用の助成を開始しました。 ・母子健康手帳の交付について、全妊婦が保健師や助産師と面接できる体制としました。 ・乳児相談を、順次児童館等へ保健師等が巡回するよう変更し、相談場所を拡充しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産後ケア事業の更なる充実を目指して検討します。 	○
	ニーズに沿った子育て支援、待機児童ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童対策については、民間保育所等の新設整備、私立幼稚園との連携による受入枠拡大策に加え、国家戦略特区制度を活用した先進的な取組により、令和3年4月の待機児童数は前年より大幅に減少しました。 ・移動児童館については、実施会場を増やすなど拡充を行いました。 ・令和3年7月より、乳幼児等医療費助成制度の所得制限を見直し、所得基準額以上の世帯の児童への一部助成を小学3年生まで拡大しました。 ・乳幼児健診実施時等における禁煙相談や、通学路等への路面シート設置による啓発を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童数は着実に減少しているものの、依然として保育ニーズは増加傾向にあるため、引き続き待機児童対策の取組を進めます。 ・乳幼児等・こども医療費助成制度の更なる拡充について、検討を行います。 	○
	受動喫煙防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・駅・バス停等への啓発看板等設置による啓発、駅前での啓発を実施します。 ・市長自身が街頭啓発に立ったほか、庁内喫煙マナーの徹底を行うなどしました。 ・禁煙外来実施医療機関をホームページやチラシ等で市民へ周知しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、啓発等の取組を進めます。 	○

政策		令和3年度までの実績、取組状況	令和4年度以降の取組予定 (令和4年度予算への計上内容含む)	進捗状況
3 みんなと暮らす	地域課題のスピード化 (1)国道176号(名塩道路)整備促進	<ul style="list-style-type: none"> ・国道176号(名塩道路)全線の早期完成に向けた要望活動を行ったほか、地元調整など国への事業協力をしました。 ・国において生瀬地区の開通見通しが公表されるなど、着実に進捗しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、名塩道路全線の早期完成に向けた要望活動を行うほか、地元調整など国への事業協力を実施していきます。 ・生瀬地区に引き続き、東久保地区の開通見通し公表に向けた働きかけをしていきます。 	△
	地域課題のスピード化 (2)阪急武庫川新駅(仮称)の新設推進	<ul style="list-style-type: none"> ・4者検討会(鉄道事業者・兵庫県・尼崎市・西宮市)による検討報告書を公表し、今後、4者が足並みを揃えて、新駅設置の事業化へ向けた具体的取組みを推進していくことを合意しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、新駅の設置に向けた関係者との協議を進めていきます。 	○